

(お知らせ)

「大飯発電所4号機非常用ディーゼル発電機ターニング装置」に係る
警報の発生について

平成24年7月16日
関西電力株式会社

標記について、添付のとおりお知らせいたします。

以上

添付資料-1

(原子力安全・保安院が発信したメール)

平成24年7月16日 5時36分発信

関係者各位

標記の件について、関西電力大飯発電所4号機（起動準備中）に係る情報がありましたのでお知らせします。

本日1時22分、大飯発電所4号機で、非常用ディーゼル発電機に係る警報が発生した件の続報です。

本日、4時15分から非常用ディーゼル発電機（A）の起動試験を実施し、5時09分、正常に起動、運転できることが確認できました。

従って、4号機の起動プロセスへの影響はなく、計画通りに起動作業を進めても、安全上の問題はありません。

ターニング装置については、引き続き、警報発生の原因調査を行う予定です。

（以下、7月16日3時24分発信 第1報の内容）

本日1時22分、大飯発電所4号機の中央制御室で、非常用ディーゼル発電機に係る警報（4号機安全系CC（コントロールセンター）負荷トリップ）が発生しました。

現在、非常用ディーゼル発電機（A）は自動起動できるように復帰済みです。

警報は、大飯4号機の非常用ディーゼル発電機（A）のターニング作業※のため、ターニングモータを起動した際、モータの過負荷が生じたことにより発生したものと推定しており、現在、原因を調査しています。

※非常用DGの停止中において、定期的に主軸を別のモータを用いて回転させる作業。

ターニング装置は、非常用ディーゼル発電機の自動起動の際に使用するものではありませんが、本日午前中を目途に、非常用ディーゼル発電機（A）の起動に問題がないか健全性確認を行う予定です。

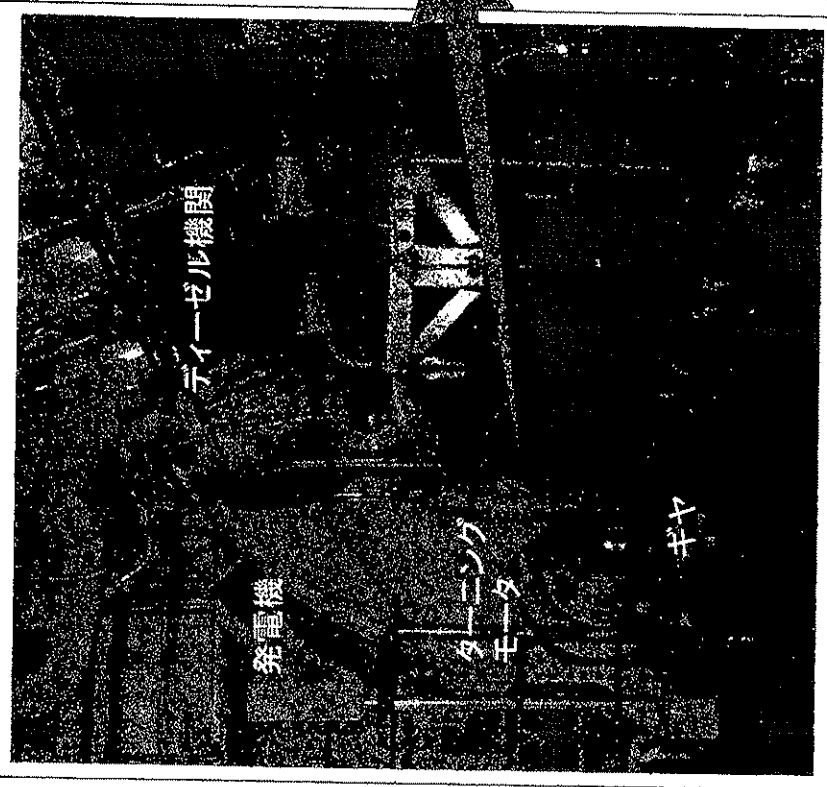
外部への放射性物質による影響はありません。

現地保安検査官が現場確認を行っています。

以上

大阪発電所4号機「安全系CC負荷トリップ」警報の発信について

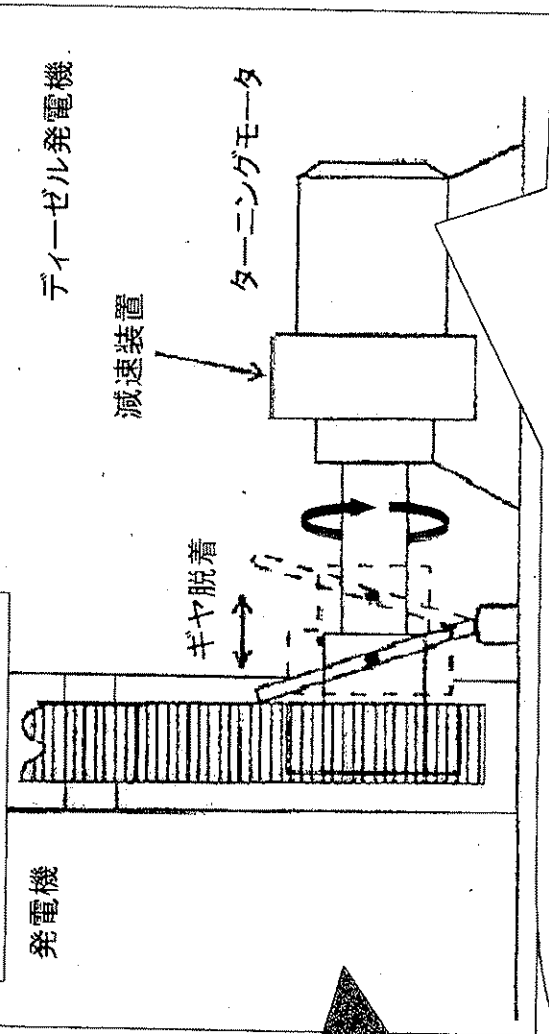
非常用ディーゼル発電機(DG)イメージ



ターニング装置の機能

非常用ディーゼル発電機の機関の動作状況を確認するため、外部モータを駆動源とする装置を接続し、非常用ディーゼル発電機の回転軸をゆっくりと回転させるもの。

ターニング装置概要図



7月16日 01:22 「安全系CC負荷トリップ」警報発信
 非常用ディーゼル発電機のターニング作業のため、ターニングモータを起動した際、モータに過負荷が生じたことにより、「安全系CC負荷トリップ」警報が発信したと推定される。

7月16日 05:09 非常用ディーゼル発電機の健全性を確認
 非常用ディーゼル発電機の起動試験を行い、健全性を確認した。